



化石工房

ヒゲを発明したクジラ 頭骨の復元を開始

AMP14という標本番号の化石が注目をあつめています。もしかしたら、ヒゲを発明したクジラかもしれないからです。

ヒゲクジラの口にはえている「ヒゲ」は爪のような材質の板で、数百枚が数ミリメートルの間隔で並んでいて、口にはいったプランクトン（オキアミ）や小魚の群れをこしとって食べるのに使います。ヒゲクジラ独特の装置で、いつごろ、どんなクジラが初めてヒゲをつけたのか、クジラの進化を解明する上での重要問題でした。

茂螺湾からは「歯のあるヒゲクジラ」が8標本見つかっています。そのうち、モラワンクジラ（Morawanocetus）と

なづけたグループ（5標本）には、歯とともにヒゲを持っていそうな特徴がみつけられました。しかし、壊れていない完全な頭骨がないので、わかりやすく説明するために復元する必要があります。

化石工房フォストリーあしよろで、復元作業をはじめました。まず、樹脂のレプリカをつくり、壊れたところを修復したりして「部品」をそろえ、頭骨の全体像を明らかにします。作業場所は化石工房のいちばん奥です。



AMP 14

頭骨の下面にシリコン樹脂を塗って型取りしているところ。

特別展示

青い目の人形展

青い目の人形。80年前に日本に
来た12,000体のうち、現存するの
は320体。足寄町には、上利別小
学校のエセル・パドックと上足寄
小学校のドリーの2体があります。

来日80周年を記念し、全国各地
の人形を写真で紹介して展示会を
開きます。

2月27日（月）

～3月11日（日）

足寄町民センター



エセル・パドック



ドリー

掲示板（行事予告）

探鳥会

例年、4月中旬に「北へ旅立つ鳥たち」のサブタイトルで、おこなっていますが、今年は暖冬のため早めることを考えています。

博物館だより3月号でお知らせする予定です。

あしよろ化石教室

4月号に「募集案内」を載せます。

実施場所の再検討が課題です。何年かおなじ場所に通っていましたが、現地の保全を考える必要がでてきました。

化石にこだわらず、いろんな地学現象の観察を、との声もあり、テーマを検討中です。

休館日 || 3月 6日 13日 20日 27日 の火曜日

博物館の動き 2～3月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

2月

8日 生きものの標本展
～26日

2月27日（月）～3月11日（日）

「青い目の人形展」

（足寄町民センター）

3月

1日 公共建築物現地調査
9日 帯広畜産大学理科教育法受講生
10日 すすめ！あしよろ冒険王
「はくぶつかんサイエンス教室」
10～ 福井県立恐竜博物館特別展示のための
11日 ビデオ撮影